

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 京谷 幸一 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 16 億円 (内用地補償費 13 億円)
		特定交通安全施設等 整備事業	神崎郡香寺町須加院		
		国道 3 1 2 号			
所在地				着工予定年度	完成予定年度
神崎郡香寺町須加院				平成 15 年度	平成 19 年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 交通量の多い当該道路で、交通流の阻害となっている右折左折待ちの車両に対し、右・左折レーンを設けることにより、交通渋滞の解消及び交通事故の削減を図り、交通安全対策を推進する。			交差点改良 計画 L = 3 4 0 m W = 1 6 m 右折車線設置 (W = 3 m) 左折車線設置 (W = 3 m) 現況 W = 1 0 . 5 m 右左折車線なし		
評価視点					
(1)必要性 快適性・ゆとり	交通の円滑化、交通事故の削減 ・自動車交通量、歩行者交通量、自転車交通量が多い。 (自動車 19,640 台/日, 歩行者 111 人/日, 自転車 339 台/日) ・朝夕の渋滞が著しい。 (朝: 7 時台に発生し、北行き最大 600m, 夕方: 17 時台に発生し、南行き最大 1,800m) ・交差点部における交通事故の発生件数 (3 年間で 12 件) が多い。 (原因: 右左折待ちの車への追突事故) ・死傷事故率 8 2 人 / 億台 k m。 歩行者、自転車に対する配慮 ・歩道のバリアフリー化 (セミフラット型に変更)。 ・幅広歩道の整備。(2 m 3 m) ・住民参加による交通安全総点検を実施し、交差点改良の必要性が指摘された。 ・地元、公安委員会等からの事業化に対する要望が高い。				
(2)有効性・効率性 有効性	・費用便益比 B / C = 2 . 3 1 ・渋滞と交通事故の原因とされている右・左折車両を右・左折専用レーンに滞留させることによりスムーズな交通の流れが確保できる。				
効率性	・円滑な用地取得に向けて、香寺町と用地取得体制に関する協議済み。				
(3)環境適合性	・車道においては排水性舗装を、歩道の舗装においては透水性舗装を採用。				
(4)優先性	・当該箇所は、自動車交通量が一日当たり約 2 万台で、朝夕の渋滞が著しく、右左折待ちの車に対する追突事故が多く発生していることから、大きな交通流の阻害となっており、早急に交差点改良を行う必要がある。				